

A black and white photograph of a large group of people, mostly men in suits, standing in rows on a stage. A banner at the top reads "大正回日韓協約通運" (Taisho Kōwa Nichō Kōei Kyōgi Tsūnpu). The group is posed for a formal group portrait.

定期第
川内副議長
運動方針

終日回定期大会

經過報告 小林事務局長

**「お宝」を創ることで
生み出すパワーで魅力産業**

降(いままでの最低)で、この勉強会、調査活動を通
じての勉強会、調査活動を通
じての問題点の掘り起こし
がえす。その後は冬の時代
機関紙「道建労働」を用いた
から転じて夏の時代へ突入
教育、宣伝活動などを通し
、現在の建設産業の大きな
課題は労働力の確保となって
を打ち出さていきます。

易摩擦による海外からの「働
ては、組合員の皆さんが何ぞ
きずきの日本人」に対する批
求め、組合員のニーズがど
にあるのか。」ゆとりで、う
へを生み、昭和六三年の労働
基準法改正により経過措置と
現場の第一線の声を堂につ
みながら運動を展開したいと
が、週四〇時間労働が規程と
思います。生の声をこの欄が、

あつた。……

「鳥を育てたかぜよう!!」

長 吉川 光人

「す。の方向を打ち出していきま
突きつけることによつて攻勢
生の声をいらいなごころに
反響を呼んでいます。現場の
誌などに取り上げられ大きな
調査活動の結果は業界紙、雑
えます。ここ二三年程の間に、
くかが大変重要な仕事だと思

「**た** **羽**」
言

呈してねり、人手不足、労働力不足は労働条件、地位の向上には追い風の状態にありまして、この状態をフルに利用して集めた声で、要望を実現していきなう。といったことのできるか。といつたことには大きな重点を置いて活動をしてきました。労使のセミナ

8、9月の予定	
8月1日	日建協定期大会
2日	建設同盟定期大会
4日	中部地協船上パ－テ－
8日	大林道路路職組定期大会
23日	大成道路路社組定期大会
26日	全大有労組定期大会
	日本舗道労組定期大会
28日	前田道路労組定期大会
9月6日	不動建設労組定期大会、設立15周年記念パ－テ－
10日	電工労連定期大会
13日	フジタ道路職組定期大会
14日	関東地協総会
17日	中部地協総会
25日	単組代表者会議
27日	東亜道路労組定期大会
30日	機関紙編集講座

